

九月一日より
九月二十日まで
郵便局にて公債賣出し
賣出値段 百圓に付九十一圓四十錢ノ割
利 廻 六分二厘餘
元 金 大正二十七年九月一日支拂
所得税はかかりません

政局の危険性

「政局の危険性」といふのは、たゞ「政局の不安定」といふことだけでは、いふことが出来ない。政局の危険性とは、国家の存続に及ぼす危険性をいふのである。政局の不安定は、国家の存続に及ぼす危険性を生ずる原因となる。政局の不安定は、国家の存続に及ぼす危険性を生ずる原因となる。政局の不安定は、国家の存続に及ぼす危険性を生ずる原因となる。

事態は益々險惡に

お門違ひの責任

眞つ平御免被る

何が何やらサッパリ判らぬ

在野黨の非難攻撃に對して

首相と法相の協議

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

小川平吉氏語る

政界からは

引退せぬ

豫審決定理由書

と二人の醜い姿

絶対秘密のものを外へ出る

判明する迄

第二の事件が

判明する迄

第二の事件が

判明する迄

第二の事件が

判明する迄

第二の事件が

判明する迄

第二の事件が

判明する迄

司法部の腐敗を

痛撃して起つ

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

怪文書配布の経路

責任は當然

江木法相に

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

責任は當然

真相の公表

三十日頃

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

真相の公表

京日案内

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

至急

趣味ある不動産

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

東京工科大学

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

無試験編入

趣味ある不動産

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

毎月発行一券壹圓

[illegible]



途上

宮崎光男作
梅津星耕畫

「途上」は、宮崎光男氏の著、梅津星耕氏の畫。...



「途上」は、宮崎光男氏の著、梅津星耕氏の畫。...

経済欄

大邸...

各界要聞... 井上劍花坊選... 京日川柳... 文壇大回廊... 俳句... 将棋新手段...

Table with 2 columns: 酒銘 (Alcohol Brand) and 馬山組合案内 (Horse Mountain Combination Guide). It lists various brands like 馬山、松井、千島園 and their respective addresses and phone numbers.

馬山諸毒消丸... 山本清心堂... 化学的作用の一番緩和な... ミツワ石鹼... 母上方よ...

Large advertisement for Mitsuya Soap (ミツワ石鹼). It features an illustration of a woman washing her face and a bottle of the soap. Text describes its benefits for skin and hair.

Table with shipping schedules (船期表) for various destinations including Korea (朝鮮), Japan (日本), and other regions. It lists ship names, departure dates, and agents.

京城日報

第...号

火の手愈々上る

朴が巧みに盗み 外部へ持出さす

司法當局懸命の活動に依り 出所漸く判明す

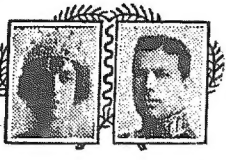
【東京電】朴正熙は、昨午、東京府警署に於て、盗み出した金庫の金銀財宝を、外部へ持出さす。司法當局は、懸命の活動に依り、出所漸く判明す。

問題の石黒

姿を晦ます

張本の北一輝は 既に刑務所に収容さる

【東京電】石黒一雄は、昨午、東京府警署に於て、姿を晦ます。張本の北一輝は、既に刑務所に収容さる。



専門家も及ばぬ 考古学の御趣味

専門家も及ばぬ 考古学の御趣味

朝鮮でも御研究

御珍客スエーデン皇太子殿下

【東京電】スエーデン皇太子殿下は、昨午、東京府警署に於て、専門家も及ばぬ考古学の御趣味を御研究。朝鮮でも御研究。



宣統廢帝を ダシに使用

宣統廢帝を ダシに使用

奉天宮殿を修築して迎へる

張作霖の民心收攬

【東京電】張作霖は、昨午、奉天宮殿を修築して迎へる。張作霖の民心收攬。

第二回全鮮野球爭覇戦

明廿九日より三日間舉行

第一日(廿九日)	第二日(三十日)	第三日(卅一日)
A 釜山鐵道 オール大邱(午後二時)	B 全州軍 オール咸興(午後二時)	C 三陟(兼) 慶熙俱樂部(午後二時)
Aの勝者-Bの勝者(午後二時)	Cの勝者-釜山鐵道(午後二時)	優勝戦(午後三時)

場所 京城運動場 主催 京城日報社

湯淺總監

新義州と安東を視察

【東京電】湯淺總監は、昨午、新義州と安東を視察。

横部銀副總裁

廿七日夜逝去す

【東京電】横部銀副總裁は、昨午、廿七日夜逝去す。

生か死か

【東京電】生か死か。

亂地獄

菊池晴江作 小寺耕嶺書

【東京電】亂地獄。菊池晴江作。小寺耕嶺書。

胃活

胃活は、胃腸の活動を促進する。胃活は、胃腸の活動を促進する。

内閣は總辭職せよ
本黨幹部意氣込む

露國領事館のイワノフさん



赤旗館に咲く
花のほゝ急み

京城の秋の新婚生活

正清の小藩、上杉の白根館にシヤ
 郎平船に懸かるゝから、師匠の
 なつて一年、昨冬からの、師匠の
 殿に殺しつゝ、身が退れた銀事
 師に出入りするものは好意を配を
 してゐたが、遊女はイノノフサ
 んと云ふ一處に留め置ける御用
 仕女ヨルギ氏と目出度
結婚式
 をあげた佳入で
 の程にはよき入となつたのである

京日童話
それから

役をかね、舞臺にやるぜない思ひ
をこめて白木のやうな指にタイア
ライターに

「どうもこれほつちではしやと
がないな、何で金目のものなら
ばかまはめ、髪が一桮になるま
しばかり取つて」

いひながら、遠くなく、露臺
一杯はいつた歌をうたにかぎ
「おつとつとつとつ……これぞ」

佐賀の猫

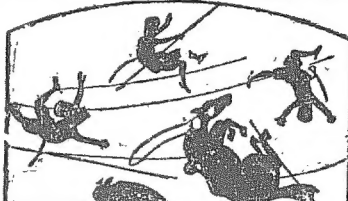
【146】南海夢樂作
石井滴水齋

玉を抱ひて罪

夢野が離すぞ出た手紙。小愚は不意思つたか、驚駭して出る。嘉一「さ、こゝは貴方屋にお手紙をしてくださいな。今歸まして参つてござんす。中へ御覽くだされば拜り手から。」と、その一紙でござんす。舞臺上の事。嘉一「明日の朝、明晩の朝、明後日の朝、私が参つてをりまさらせてお返事を取願いたしませう。」彌一「テナナ捕らね手紙をどうにかする手紙が」嘉一「すから手紙になれば拜りますのでせう。右様なら。」彌一「これくつて、能の文だから知れないものを、無やなく読して行くべきがあるか。嘉一「そんな事をおつかないでませう。舞臺事は昨日目撃したんです。ア夢野は第十に擧げますよ」といふ仕舞つた。

(幕が閉ぢたといひながら)

手紙讀つて手紙の裏を見ると、名が横線一面線を透して出入り押らない。彌一「はア、何だ、小の字はよくに相違ふが、押張るは小愚だ、ハアアアと絶叫しだしたら、下腹が、ア、ア、ア、何うも此方がない、この手を小紙を握つてやらうと、足元見かけて、脚がつつと倒れて、待てー、男ばかりに奴等だ。これは何故かありやうか。余、正直な男ではないとフツツと疑をあげて見舞になす。さう、白の部屋、戻つて退却。彌一に掛附けて逃げてある。めかしい口説きの末に、是非、是非、是非と參り来る。このまゝ、悲事が起きませんけれども、焦が死にますといふ。ふ、焦がて吉龍よりと貽してあゝ

[illegible]

ギザツク兵なぞ、餓饉くは
 の饑饉、イザ憂ふべし
 と大體にようにはやはりました
 とな、饑饉の咥に、堪へ難き
 一饅頭つべこべぬかサア野
 共の饑饉がうけられるもの
 のらうて見よう
 りて、片ア方のあなをおさ
 け片ア方のあなかーと息
 吹き出したました、サア饑饉
 堪へ難きとな、サア饑饉
 され、サアにイザ憂ふて、
 とうとう王様の御饉へ、吹き度
 しました、
 これにはさすがの王様もかふ

のふのお事を眞顔にしたいものでござます」
「お、よく来て呉れたな。さうして、お前さん、小僧がくぐれりもよろしく申したと、喜んぬへい」
「承知いたしました、吉原様こそお喜び下さいませ」
「これは些少だがこの方に返す」
「さうやう伺ひ有難う存じます、左様なら、又手紙がございましたら、持参いたします」
小僧から数匁を貰つて立歸るそこ件返事を吉原様に
と氣遣ひにあらざるやうな文が返つてゐるのだらう、人違ひは夢にも知らない野郎、戯言で欺られた返事と思ひ、天へ誓ふ心で吉原をして、鳴差支障を認めて、「お、まあ、もう一度讀んで、これは誠に似が、一口……」
「さう考へてございますか、毎度何もうございます、直に飛び出し、御手に手紙を渡す」

旭町一河原へ

鳥眞は
しんととお物置りをいたしたたけれど、読ましてる羽目自由になすべしとの相談、御手こさまりに聞かぬであらう、然らず母の要請と申せども、四回日替舞臺に於てなりて城下の河原にある大馬鹿園といふ家へ賣つた親類から拙者が先行して待つて居るから……かういふ相談が成り立ちました、今日は日付だから二日、三日吉原は待っていて構へません、一日手紙を送りて下さる内に、六日を教して日となす腹用が好むの要領ありつたはず、お暇を取つてもあな形故、朝かお暇を尋ねてめかし込み、い……城下へ立出て来

をぬいては皆で「ア、仕度がない、さならぬ神にたよりなしだ、あんを懲ろしい、奴にかゝらあひになつたのは自分が悪いのぢやつた」といひました。

一帯、自分の密かに溜した由太郎は分かつた寶物をそれからどう

したか思ひます。この先は讀者が自分で考へて見て下さい。完

野菜の消痔　クロールル
ル（即ち明粉を、又、水一斗とか、酒漿に用ゐる煎はあかじも水一斗放入るものを定めてゐる。それに野菜を求めたいので、それ以上つけおく。それで安泰である。服した野菜は、水洗して用ひる。

て 探 きて 中 の と 命 物 際 づ き ぐ

Ford

ド ー オ フ

極東に於
ドサーウ
とが出来
サーヴィ
備して居
要なる手
迅速で經
模造フォ
く且つ多
ード部分
フォード
全世界に



極東に於けるフォード所有者各位は日本、朝鮮、滿洲及び支那に散在するフォード・サービスステーションで、充分信頼し、又御満足の出来る奉仕を得らるゝことが出来ます。

サービスステーションは各種の部分品を持ち出し、修繕に必要な諸道具を設備して居ります。フォード所有者各位は朝鮮の主なる市及沿道にて、何時でも必要なる手當又は修繕を受けらるゝことが出来ます。斯くて遅引を極度に減少し、迅速に經濟の運搬を可能ならしめます。

模造フォード部分品に御注意あれ。此模造品は劣等の材料にて作られ、壽命短かく且つ多くの場合、乗者の生命に關する程の危險を醸す處があります。純正フォード部分品のみを御需めになり、災害を御防ぎあれ。

フォードは常に御所有車を完全の狀態に置くことを切望します。此實現の爲めに全世界に三萬以上のサービスラーを散在せしめました。

概観はなりすまい。(婦人科
 科醫博士)
局部がカユイ
 (問) 二十四歳人妻、十日前
 から局部の痒痛が非常にカユ
 になりました。何に何等の故
 事ありません。何にいつに痒
 くなり、随にいつに痒痛で
 せきか(脚北奉仕女)
 答(問) リゾール液、開水で洗
 つて御覽なさい。(婦人科 宮
 田)
出産が遅れる
 (問) 卅九歳の女、昨年九月初
 め臨んだがその産後既に來た
 に届かず廿日か一月前か(産
 が)へ出目が(き)ません。い
 ちやうど(か)か(き)まぬ(か)か
 答(問) 中身に全身を洗つた後
 には洗つて風呂で固いては
 いけません。醫者に診察して貰
 つて(産)ななければなら
 りません。分娩(産)しては
 ないとのお病に(産)しては(産)

(問) 二十歳の女、赤痢あつ
 十七歳、産後(産)ましたが(産)
 に(産)しません。子宮が(産)
 倒れるから(産)の(産)に
 いの(産)で(産)と(産)を
 (問) 婦人科
 答(問) 子宮が(産)なれば(産)を要
 します、(産)に花を(産)を
 れた(産)で(産)を(産)を
 が(産)で(産)を(産)を
 産可能が多いです。(婦人
 科醫博士)
月經不順と尿水
 (問) こしけ別産(産)な(産)
 である(産)で(産)人(産)に
 産する(産)分(産)に(産)に
 産つて(産)を(産)に(産)
 産ると(産)と(産)に(産)
 十六分(産)あります(産)か(産)
 答(問) 尿水につけるのはよく(産)
 する(産)尿(産)で(産)を(産)
 方(産)い、です。(婦人科 宮田)

出産後の月經

院病上紙

男の短い骨髄の脚さなどを母が
つたにでないといふと申上げ
れせん(舊婦人會)富博士

月經が出血か

〔問〕 本年四月分産婦 母子共
事ですが月經が四十日目に
日閉ありましたら、い蓋の時
は一月目に月經があらました
今迄は四十日過ぎないか

[illegible]

か 三 点

六は第十四番

命後甲文はいる勝

聯珠必勝法

(33)

山剛金景絶 / 下天

一剛金

日本第一國產藥廠
株式會社一七九
京都竹屋町三丁目五番地
電話四四八五
東京光化門三九一
電話九一六

[illegible]

獅子雄 花雄 四谷友太郎 織川良子
 フットナショナル 就映
 映洋上の薔薇 巻七
 アル・キマロスワード 前作
 日活映画第二部現作
 正義に鳴る虎徹 巻七
 阿部五郎(折原) 柳本晴
 上野多良(長瀬) 川上雅也
 大熊(長瀬) 川上雅也

奇

恐ろしく小兒死亡に率
萬一の爲めに常服を要するな

應

それは眞實の
同性愛の結果―

丸

主 効
カンムシ、キツケ、
ヒキツケ、オウバシ、
下疳、梅毒、淋病、イナマシ、
ヤブ天竺、白濁、イチ子供

價目 二銭五厘 五銭 一圓 三圓
郵費 全日本 函索即寄 本邦外埠 加郵費
大正 天竺 情
榊屋 倉 寶 社
總發大阪三六〇

大同館

大和町支店
本月より開店
至る所で評判の

日本オートバイ自動車株式會社

